

第1回 瑞穂町自立支援協議会 会議録（要点筆記）

日程：令和4年5月25日（水）

時間：午後2時から午後3時30分まで

場所：瑞穂町役場 2階 2-1会議室

出席者：杉浦会長、戸村副会長、隅河内委員、堀之内委員、神委員、野邊委員、
西出委員、宮岡委員、鈴木委員、谷口委員、笠川委員、石藏委員
計12名

欠席者：吉岡委員、稲富委員

配布資料

- ①会議次第（A4 1枚）
- ②瑞穂町自立支援協議会委員名簿（A4 1枚）
- ③質疑等シート
- ④令和3年度自立支援協議会第会議録（要点筆記）

1 開会

事務局挨拶

2 議題

- （1）委員委嘱 当日机上配布にて対応（資料②）
- （2）正・副会長の五選について（資料②）
事務局より会長を杉浦委員、副会長を戸村委員へ指名
- （3）各部会の委員編成について（資料②）
 - ・生活部会は相談支援事業所にも出席を依頼する。
 - ・就労部会は町内の新規事業所に出席を依頼する。
 - ・子育て部門の委員に関して、障がい児に関する議題が予定されている場合のみご出席頂く。（障がい児に関する議題がない場合においてご出席頂けるのであれば出席して頂きたい。）
- （4）質疑等シートについて（資料③）
 - ・今年度の活動について障害者週間等の普及啓発を協議会で取り組みたい。案として、町内事業所の紹介ポスター等を作成頂き、

どのような施設かを理解してもらえようようにしたい。

事務局

・教育部局と子育て部局の委員に関して協議会と生活部会に参加頂くことになっているが、障がい児に関する議題が予定されている場合のみご出席頂くことを考えている。児童に関する議題がない場合においても出席していただけるのであれば出席していただきたいと考えている。

・障がい児のテーマを疎かにするのではなく、親会の中で障がい児に関する内容を取り上げたいと考えています。今年度から教育部局に関して就学年齢のお子さんのうち障がい児のお子さんの分布（特別支援学校、学級等）がわかるものがない。今後のサービスについての必要性が見えてくるため、資料の提供をお願いしたいと考えている。

議題（４）について

事務局

１点目

障害者週間等の普及啓発を自立支援協議会で取り組みたいと考えている。今までも庁舎に絵画等の展示をしていたがもう少し拡大した形で実施したい。

障害者週間、発達障害者週間において町内事業所の紹介ポスター等を作成頂いてどのような施設かを理解してもらえようようにしたい。

質問・その他意見

・他市では、商業施設で就労体験した時の写真パネルを商業施設内に展示してもらったことがあった。

→福祉祭りやイベント等で展示できるような機会があれば考えたい。障害者週間の期間に発行される広報の表紙に利用者の方等を起用したり、大きめのスペースを使って周知することができるのではないかと。

→自立支援協議会で取り組んでいただければ、各施設から写真等いただけたらと思う。この後広報部局と相談する。

・今年度の実施予定は未定だが、町の文化祭で展示や発表等をするのも良いと思う。

・例年障害者施設に見学に行くことがあるが、反対に障害者の方が外部の施設に見学に行くことはどうか。様々な経験となると思う。

・展示スペースで使える備品はどのようなものがあるか、モニターがあれば音声もあり気にかけてもらいやすい。町の Youtube チャンネルの活用もできる。広報にQRコードを付けて Youtube チャンネルにリンクすることもできる。

→庁舎で利用できるのは、パネル・机程度。モニターとなるとオンライン会

議用のものになる。ただ施設に映像を作成していただく必要がある。住民課前の窓口の呼び出し用モニターについても対応ができるか確認する。

- ・ 展示スペースで物品販売は可能か。
→スペースを考慮すると施設ごと事業所ごとで時間を割り振れば可能。

事務局

- ・ 各施設、事業所に協力してもらい積極的に取り組むこと。
- ・ 広報により多く掲載すること。とさせていただく。

2点目

協議会を運営母体とした住民向け親御さん向けに勉強会を実施したいと考えている。日中活動、就労に関するテーマで1年おきを目安に勉強会が企画できればと考えている。生活部会、就労部会それぞれでテーマを考えて実施したい。皆さんの意見を伺いたい。

質問・その他意見

・ 住民向けとなると対象者の幅が広い。対象者のモチベーションの底上げをしないといけないのでハードルが高いのではないかと思う。

→対象者をターゲット化しないといけないと思う。勉強会に来て聞きたい事が聞けないということが起きてしまう可能性がある。協議会についても知らない町民の方がほとんどだと思うのでPRする機会にもなる。

現段階では謝礼・報酬の予算がないためボランティアになってしまう。このことからスタートとして、年1回の開催はどうかと考えている。

・ 他市の状況は、勉強会のための予算取りをし、大学に当日の講師を依頼している。自立支援協議会のメンバーが通常の業務を休み、無給で講師を行うことは望ましくないのではと思う。幅広い対象者に勉強会を行うにあたって果たして自立支援協議会で実施することが正しいのか。

→事務局として対象者と内容について何が良いかご意見をいただきたい。

質問・その他意見

・ 目的が何か問題。テーマとしては、誰をターゲットにするのか。本当に困っていて支給決定受けていれば相談支援事業所が介入しないといけない。障がいの受容ができていないけど、障がいがあるかもしれないような場合はサービスの紹介からになる。

グループホームの利用方法や、権利擁護とは等のテーマが重要。それを1回でこなすのは難しいと思う。成功体験のある方のパネルディスカッションをすることや、勉強会の後半で分科会をすることも良い。年1回の開催であれば分科

会方式が望ましいと思う。権利擁護等についてはケースバイケースなので一般論だけでは足りないので専門機関に行くほうが良い。

障害者週間については当事者参加が一番の啓発になる。知的障害者の方が絵を描き、その絵を見て精神障害者の方が詩を作り、両方を展示しているところもある。庁舎の呼び出しモニターに映像を流すのは画期的だと思う、Youtubeチャンネルにリンクするのも面白いと思う。

他自治体で「意思決定支援」というものがあり、利用者が外出して地域住民の方が対応しサポートする取り組みがある。とてもいい取り組みだが達成するにはスキルが必要。

→参考にさせていただきます。勉強会については部会で取り組んでいただけるのか、切り離して町事業として実施するかについてご意見いただきたい。

・そもそも自立支援協議会は検討会なのか実施機関なのか、町で実施したとしても協議会は協力することになると思う。ただ、実施機関がないと準備に時間もかかるので難しい。現実問題協議会が実施機関になることは難しいと思う。意見を述べたり助言をしたり可能だと思うが主催者となるのは協議会に相当力がないと難しい。

→事務局としては、意見や助言をいただけるだけでも構わない。専門的な助言をいただき細かい部分については事務局で進めていく。実施主体が町という形で進めていく。協議会の回数が増やせないことも想定しているので、もし1年では難しいということであれば企画の年度と実施の年度で考えていく。

・意見をまとめると、勉強会はあった方が良い。内容、スケールをどうしていくかを詰めていくことが必要。西多摩地区の就労支援センターではセミナーを隔年で開催しているが、やはり準備が大変。業務にかなり負荷がかかる。町の規模に合わせる必要がある。大きなスケールとなると協議会では難しいが、小規模であれば部会で対象者を絞ってと考えることもできるのではないかと考える。

→今後部会で進めさせていただく。